

名称 IRPTC (International Register of Potentially Toxic Chemicals)

日本語名 国際有害化学物質登録制度

親機関 UNEP

住所 UNEP/IRPTC, Palais des Nations, CH-1211, Geneva 10

国名 SWITZERLAND

電話 41-22-798-8400

ファックス 41-22-733-2673

---

#### 1. タイプ：国際データ管理計画

#### 2. 地理的範囲：世界

#### 3. 目的

1976年UNEPはジュネーブにIRPTCを設立した。IRPTCは次の5つの使命をもっている。

- (1) 化学物質の生産、分布、排出と廃棄及び人間・環境影響に関するデータを入手できる仕組みをつくり、化学物質の影響やその対策効果の評価などに国内・国際的リソースをより効率的に利用できるようにする。
- (2) 登録制度の基礎となる化学物質の影響に関する知見のギャップを明確にし、このギャップを埋めるための研究の必要性について注意を喚起する。
- (3) 化学物質と廃棄物の中から有害物質を同定し、有害物質に対する注意を喚起する。
- (4) 有害廃棄物の規制に関する各国、地域、世界的政策、規制手段や基準、勧告について情報を提供する。
- (5) 国際貿易における化学物質に関する情報交換のために必要な政策の実施を担保する。

IRPTCは国内・国際機関、産業界や外部委託者や各国のIRPTC支部のネットワークを通じて機能する。現在IRPTCは約110カ国において支部をもっている。IRPTCは2種類の情報提供を行っている。

- ・法制ファイル：IRPTC法制ファイルは70年代後半に作成され、1980年に"Legal Data Profiles for Selected Chemicals"が出版された。このファイルは主として廃棄物管理と処分、毒性影響を試験している化学物質、国別の化学物質の制限に関する情報を管理するために設けられた。
- ・問い合わせサービス：各国政府、環境機関・団体、産業界、個人からの質問に答える。

#### 4. データ管理

現在IRPTCのデータベースは、8000の化学物質に関して42000件のデータを保有している。データプロフィール(17属性、特性からなる)が600以上の国際的に重要な化学物質について作成された。化学物質はIRPTCの法制ファイルのなかで、化学物質アブストラクトサービス(CAS: Chemical Abstract Service)と、化学物質の毒性影響登録システム(RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances)の登録番号を用いて検索できる。

IRPTCデータベースはジュネーブの国際コンピュータセンターの大型計算機で運用されている。全データが、カナダにおいてはINET2000(National Telecommunication Network)を通して、オタワにあるカナダ健康・福祉省で利用できる。欧州においては法制ファイルと廃棄物管理ファイルがEURONET、TELEPAK、TYMNETを通してECDIN(EECの環境化学物質データ情報ネットワーク、ドイツ、ケルン)を通してオンラインで利用できる。

現在コンピュータ化された登録システムへデータを入力中であり、データプロフィールは要求に応じて

印刷物として提供される。データ要求は手紙、電話、テレックス、テレファックスにより可能である。IRPTCの日本の支部は以下のとおりである。

National Institute of Hygiene Sciences

18-1 Kamiyoga, 1-chome

Setagayaku, Tokyo 158

現在IRPTCはデータに容易にアクセスするためパソコン上で運用できるように移植している（現在バージョン1.5が利用できる）。当初は一部の国機関と国立研究所等に限定してデータ及びプログラムが1992年中にリリースされる予定である。続く版は広く利用者に提供される予定である。

## 5. 協力関係

IRPTCは全世界のネットワークとして機能しているので、各国機関、国際機関との協力は広範囲に行われているが、現在IRPTCは化学物質の安全性について国際協力へ向けて活動を強化している。現在OECDの環境理事会／化学物質部の活動において生産量の多い化学物質に関する情報を収集しており、データは化学物質の優先度を決定するために用いられる（SIDS: Screening Information Data Sets と呼ばれる）。このためにOECDは1991年1月31日に既存の化学物質の共同調査とリスク低減について委員会の決定、勧告を採択した。

## 6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

UNEP, 1990: International Register of Potentially Toxic Chemicals, 32 P.

UNEP, 1989: London Guidelines for the Exchange of Information on Chemicals in International Trade, Amended 1989, 22p.

UNEP/FAO, 1991: Joint FAO/UNEP Programme for the Operation of Prior Informed Consent, Guidance for Governments, 52 P.